

| 岩 | 手 | 県 | 指 | 定 | 史 | 跡 |

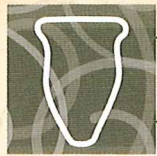
大館町遺跡

～ 縄文時代中期の大規模なムラ～



平成20年3月

盛岡市遺跡の学び館



よみがえる 大館“ムラ”の姿

大館町遺跡は、今からおよそ5,000～4,000年前に営まれた、縄文時代中期の遺跡です。昭和31（1956）年から何度も発掘調査が行われ、縄文時代の大規模なムラの跡であることが分かりました。

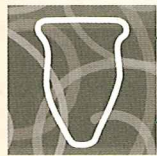
大館町遺跡は、南北250m、東西200mくらいの大きさです。広場を中心にして、これを取り囲むように住居区域が広がり、当時の住まいである竪穴住居跡がたくさん見つかりました。住居跡は、いくつかのまとまりに分かれていたことから、ムラの中にいくつかのグループがあり、住居を建てる区域が決まっていたのかもしれない。

この区域ではほかに、地面に掘った穴に柱を立ててつくる掘立柱建物跡も見つかり、区域のはずれからは、食料を貯蔵するための穴が多数発見されています。

ムラの中央にある広場は、南北60m、東西40mくらいの広さです。ここからは、お墓が見つかっており、ムラにとって神聖な共有の場所であったと考えられます。また、住居区域の南側と西側からは、土器や石器などを捨てた場所が見つかりました。

当時の人々は、居住や食料の貯蔵、亡くなった人の埋葬などの目的によってムラの中を区分し、使い分けていたと考えることができます。

盛岡市内からは、縄文時代中期の遺跡が数多く見つっていますが、大館町遺跡はそのなかでも最も長く繁栄した遺跡です。この地域の中心的なムラだったのでしょう。



大館町遺跡で見つかった出土品

★土器 渦巻のような文様が特ちょうです。土器の大きさ、形、文様が個性的で、縄文時代を代表する土器です。国内最大クラスの土器も見つっています。

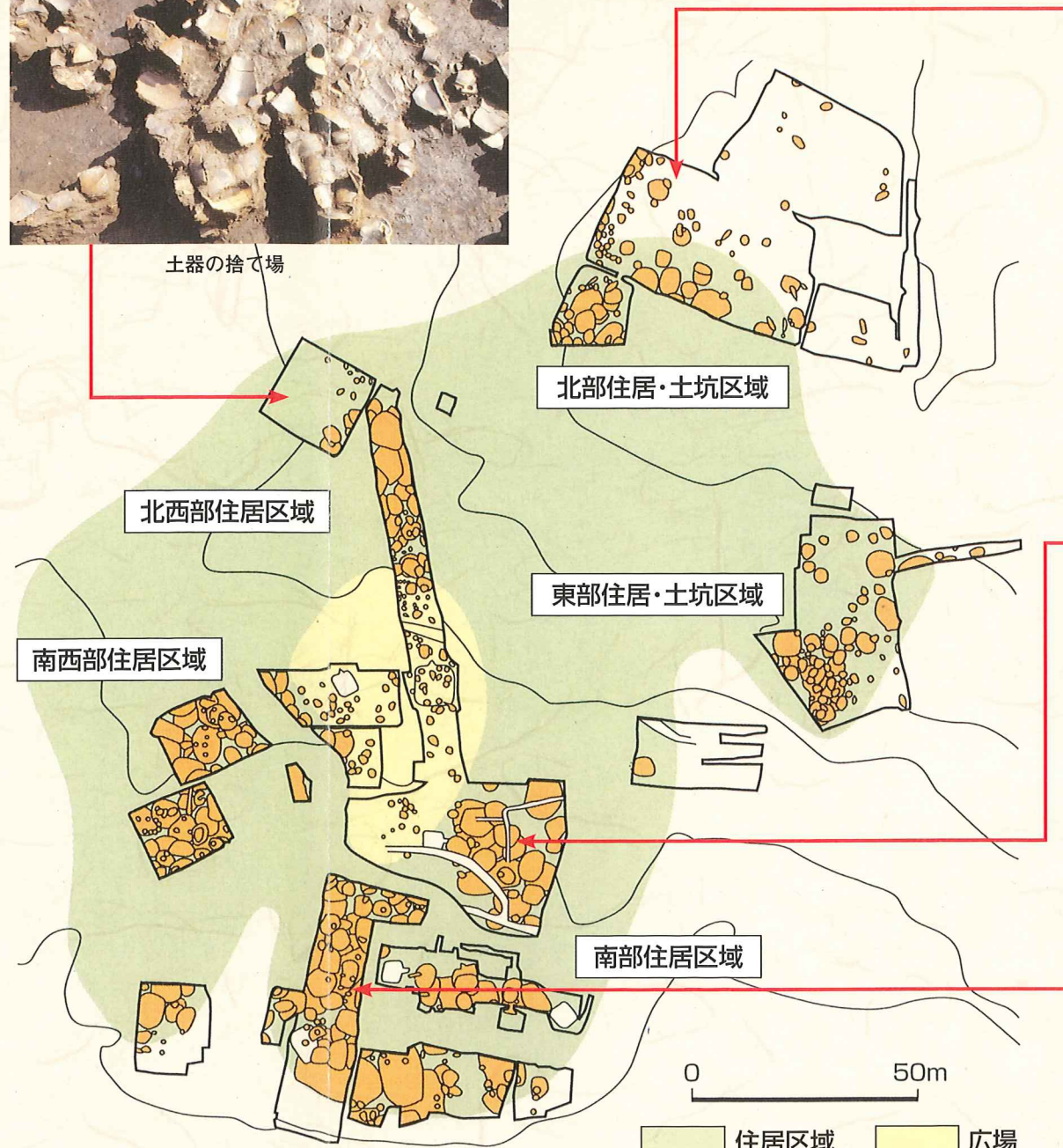
★土偶 縄文時代中期の土偶は、「板状土偶」と呼ばれる平べったい土偶です。大館町遺跡でも板状土偶が見つっています。そのほとんどは、壊れた状態で見つかりました。

★土・石製品 土や石で作ったさまざまな道具も見つっています。身体を飾る装身具（アクセサリ）や祭祀で使う道具が多く見られます。

このように、いろいろなものが大量に見つっていることも大館町遺跡の特ちょうのひとつです。



土器の捨て場



食料を貯蔵する穴（貯蔵穴）



複雑に重なり合った竪穴住居跡



掘立柱建物跡（白線で囲まれた丸が柱の穴）



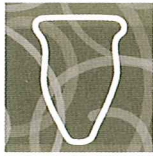
バラエティ豊かな土器



壊れた状態で見つかった板状土偶



いろいろな土製品・石製品



岩手県指定史跡 大館町遺跡の整備と活用

～地域に開かれた文化遺産を目指して～

大館町遺跡は、縄文時代中期の集落跡としては、岩手県内で最大級の規模で、およそ1,000年もの長期間にわたって営まれ、縄文時代の集落や社会構造を研究する上で非常に重要な遺跡であることから、平成12(2007)年に岩手県史跡に指定されました。

これから大館町遺跡は、歴史や文化財を活用した生涯学習の場として、また、地域に密着し地域に開かれた史跡を目指していきます。

遺跡説明板や案内板を整備し、昔の人の暮らしに関する体験学習や、児童・生徒、一般市民を対象とした歴史講座などを通して、貴重な遺跡に対する理解をより深め、文化財保護の啓蒙を推進します。

また、土器の野焼き、縄文まつりなどのイベント・事業を、地域の方々と協働で推し進め、大館町遺跡をまちづくりの資源のひとつとして活用していきます。



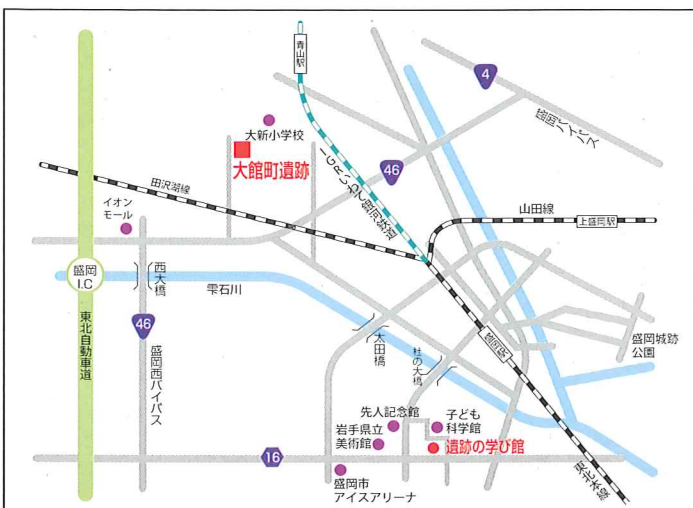
地元 西部公民館での縄文講座



地元町内会の土器野焼きまつり

一 大館町遺跡 保存・整備のあゆみ 一

- 昭和31 (1956) 年 9月
初の本格的学術調査の実施
- 昭和48 (1973) 年
岩手大学による発掘調査が開始
- 昭和55 (1980) 年 8月
緊急発掘調査事業(文化庁補助事業)を導入し、盛岡市教育委員会による第1次調査が開始
- 平成 5 (1993) 年 5月
大規模宅地造成に係る発掘調査を実施
- 平成12 (2000) 年 3月
岩手県教育委員会指定候補物件調査
- 平成12 (2000) 年 8月
県史跡指定に係る地元地権者説明会
- 平成12 (2000) 年11月
岩手県指定史跡告示
- 平成19 (2007) 年 3月
遺跡説明板、園路、駐車場の設置



一 アクセス 一

- [車] 東北自動車道 盛岡 I C より15分
JR盛岡駅から20分
IGRいわて銀河鉄道線 青山駅から10分
- [バス] 岩手県交通 滝沢ゆとりが丘団地線
「東銀大館町支店前」バス停下車 徒歩15分
(盛岡駅前バスターミナル⑨番乗り場)

平成20(2008)年3月28日 発行

刊行◇盛岡市遺跡の学び館

岩手県盛岡市本宮字荒屋13-1 ☎019-635-6600

<http://www.city.morioka.iwate.jp/14kyoiku/iseki/manabikan/index.html>

印刷◇河北印刷株式会社(岩手県盛岡市本町通2-8-7)